

みなさんこんにちは、いつも白衣の恵子先生です。先週の防災教室では、初めての竜巻対応ということで、机とランドセルを使ってシェルターを作りましたね。温暖化して竜巻が起こりやすくなっている時代だからこそその訓練です。ミャンマーの日本人学校では、避難訓練と言ったら地震でも竜巻でもなく、『テロ』だそうですよ。驚きですよ。今日は壬生町役場の方のお話や訓練を通して、書いてもらった皆さんの振り返りを少しだけ紹介したいと思います。

災害はいつ起こるか分からないからこそ日々日々の訓練が大事だと思いました。

学校以外にも、いつでもどこで災害が起こるから分からないから、あらかじめ、家族と相談などをしておきたいなと思いました。また、自分の命は自分で守れるように、どうすればよいのかを確認しておきたいと思いました。

自然災害はいつ起こるか分からないから、すぐ判断して行動できるように災害の恐ろしさを知って真剣に訓練することが大切だと思いました。1つ1つの行動が安全につながるので、冷静に判断して行動することが大切だと思いました。もしこうだったらどうしようなどと、いろんな場合のことを考えていざというときに活かせるようにしたいです。

・実際に大きい災害が近くで起こったことがないから、よく分からなかったけれど、講話を聞いて壬生町でも災害は起こるし、いつ起こってもおかしくないから避難の仕方を確認して備えておきたいと思った。

・災害が起きた時には、自分の命は自分で守ることも大切だし、それに加えて周りにいる人と協力して身を守ることが大切なのだと分かった。

・災害は起こってほしくないけれど、いつ起こるか分からないから、どこで起こっても冷静に避難できるように、逃げ方や逃げる場所をしっかりと考えておきたい。

竜巻がおきたとき、今日のことを思い出して自分のことを守りたいです。家に帰ってからは、家族みんなに今日のことを教えてあげたいです。

講話を聞いて、壬生町の自然災害はあまり聞いたことがなかったけど壬生町でも大きな自然災害が起きていることが分かりました。そして、自分の命は自分で守ろうという気持ちが避難訓練をやってより高まりました。シェルターも落ち着いて作る事が出来て良かったです。

「誰もいないときに自然災害が起こったらどのような行動をとればいいのか考えること」、「避難する場所を確認すること」、これらを日々確認していざという時に使えるようにすること。

みなさんがしっかりと講話を理解して、自分事として考えられるようになっていたことが伝わってきました。実際の訓練もとても素早い対応で素晴らしい取り組みでした。ちなみに、東日本大震災の後の小学校では、津波を避けられる高台までの道のりを走り切る体力が必要だと、体育の授業での目標を子供たちが考えて、体力づくりを行うようになったと聞きました。有事の際に自分の身を守る『体力』、周りの人々と協力して乗り越える『精神力』の両方が必要であると気づいたからでしょう。そして、皆さんも今週、持久走記録会に挑戦しました。今までの持久走チャレンジ月間に『体力』と『精神力』を鍛えてきましたね。『ちょっと苦しいことも頑張る』この積み重ねが、みなさんの『心を強く』してくれたんですね。努力してきた成果を出せた子がたくさんいました。壬雷ちゃんの応援で頑張れた!という子もいましたね。一生懸命に走る姿はもちろんですが、仲間を応援する声も、仲間走り寄る姿も、全部含めて持久走記録会を実施する大きな価値だと改めて感じました。走り終わった後の皆さんの達成感に満ち溢れた笑顔が、仲間と声を掛け合い信頼あふれる笑顔が、壬雷ちゃんとタッチする充実した笑顔が、とっても素敵でした。1か月間よく頑張りましたね!! 確実に強い心が育っていますよ!! 次は、縄跳びチャレンジです!! 頑張れ!!

それではまた来週、See you next week! Have a nice weekend!!